

新エンジン&新CVT によるミニмумエンジンルームと Honda 独創のセンタータンクレイアウトが実現した、 人に“ゆとり”をもたらす革新プラットフォーム。

Nシリーズの開発でもっとも大切にしたのは、「軽自動車だから」という考え方を排除することでした。幅広いお客様に愛用される軽自動車は、日常ユースから週末のレジャーまできちんとこなす一台でなければなりません。私たち自身が「軽」という概念を頭から外し、ファーストカーとしてあるべき姿をまっすぐに見つめることからスタートしたのです。

こうして見出した開発テーマが“ゆとり”の創造です。M・M 思想の体現である空間のゆとりを第一に据え、街乗りも遠出も苦にならない運転のしやすさ、乗り降りや積み降ろしの容易さ、すなわち行動を楽しむための工夫を開発の重要課題としました。その上で、広さを生かしたくつろげる室内や静粛性、安全性といった、こころのゆとりまで追求したのです。

これらの狙いを限られたサイズの中で実現するには、これまでの常識にとらわれない技術が求められます。そこで Honda は、ミニмумエンジンルームとセンタータンクレイアウトを核とした、革新のプラットフォームを新たに開発しました。

エンジンは、衝突時に補機類がつぶれたり、隙間に潜り込んだりして衝撃吸収スペースをつくり出す画期的な新骨格を採用。エンジンルームをミニмум化することで従来に比べ70mm も長い室内を実現しています。しかも、クラストップレベルの走りや燃費を両立しています。さらに、Honda がフィットで確立したセンタータンクレイアウトも採用。燃料タンクをフロント席の下に配置することで、リア席の快適性向上をはじめ、圧倒的に低い荷室や多彩なシートアレンジなど、さまざまな魅力を実現しました。

